

電話の向こうに君の笑顔が見える……

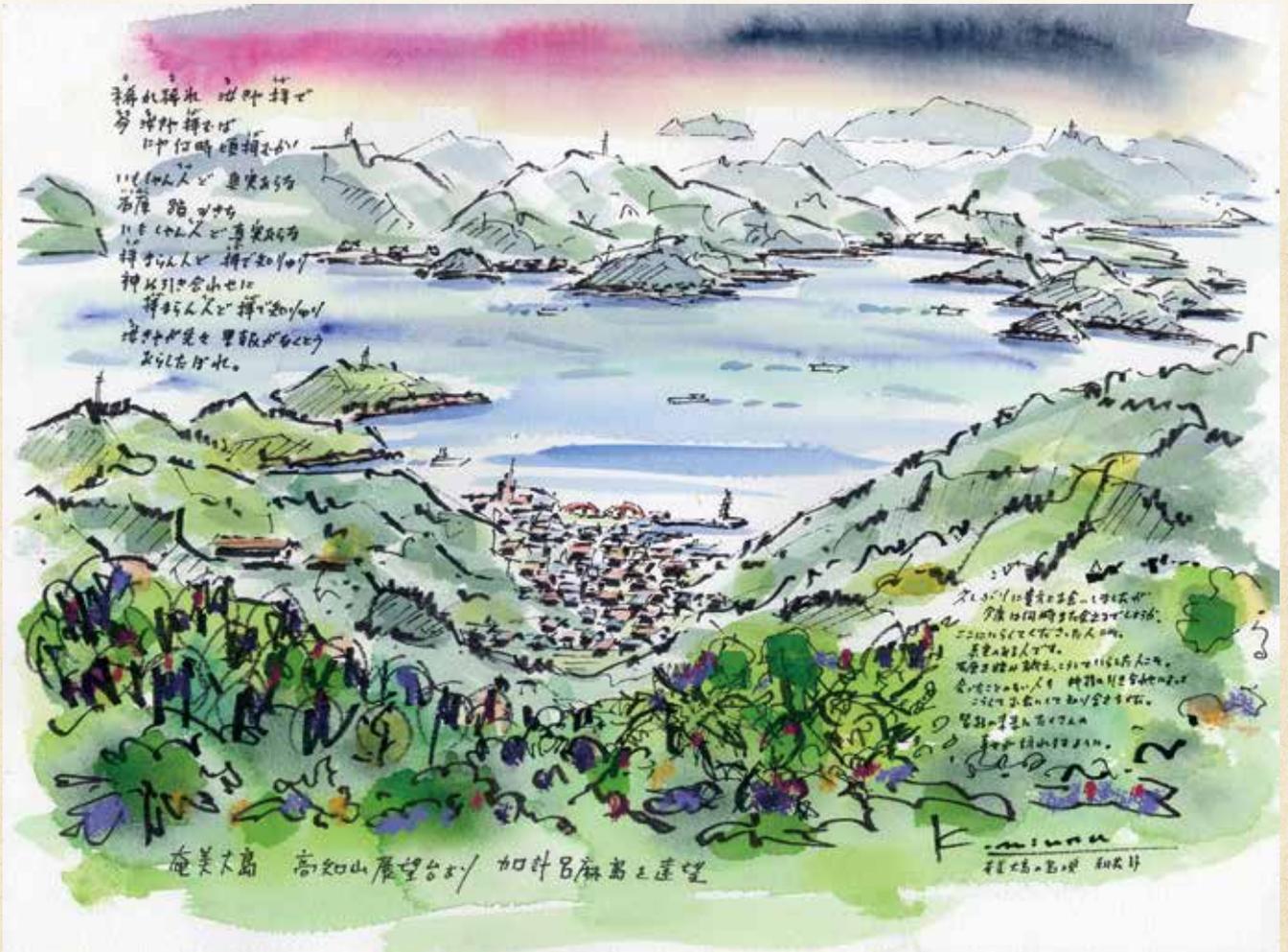


山形いのちの電話

広報69号

2024.6.25

yamagata



旅のスケッチから

山形いのちの電話評議員
俵三浦板金製作所 代表取締役会長

三浦孝太郎

私は旅することが大好きだ。
 旅のついでにスケッチするのではなく、絵を描くために旅を続けている。
 絵との出会いは小学生初期であった。
 高校の時は木炭デッサンに力を入れた。
 青年時代に油絵に取りつかれ、田舎の多層民家と泊りがけで描いた記憶がある。
 ヨーロッパに旅行した折、再び水彩画に転向した。
 製作中はエネルギーを傾け、心不乱となり、無心に描かれるものだ。
 その瞬間、腕の先にもう一人の自分が居るような気がして存ぞい。
 人生は自分が思うほど永いものではなく、あ、と云う間存のかがも知れ存。
 だから「一日一生」と考之、毎日を大切に生きてゆきたいと願っている。
 四オハオ、三十二オを旅から学んで存。
 旅のスケッチからは今日も進行中である。

生かされている命を生かす

山形いのちの電話理事
(宗)妙法寺 院主

矢 吹 海 慶

本年1月25日夜8時に意識不明となり、家族を呼んだのをいっか覚えているが、あとは救急車に乗せられ、救命センターに運ばれたのは全然わからなかった。大きな酸素吸入器を当てられ点滴をうたれて気がついた。コロナとインフルエンザにかかったのが原因であった。実は1月20日に東京で会合があり、そこで感染したらしい。70日間入院。3月24日に退院、息子が後で言うには、お父さんはもう駄目だと思ったそうである。私はああ又今回も生かしてもらった、生かされたつくづく思った。平成15年1月に舌癌で手術を受け完治した。その後膀胱結石で2回、前立腺肥大で2回手術を受け、13年前胃に穴があき大量下血で内視鏡で手術、あと5分遅れていれば命はなかった。そして令和5年1月、心不全で集中治療室で14日間、その間大腸癌が見つかり、3月11日に7時間かけて手術。4月に膀胱癌、7月に食道癌の手術を受けた。今までの病歴を長々と書いたが、92歳まで生かされて来たことに、合掌して感謝している。

人はだれしも生きているのではなく、生かされている。そこで人間の基本的条件として次の四つがある。

1. 自尊心=己を信じ、価値ある人間と認める、己の存在を確認する。つまりあらゆる生きものの中で、人間として生まれるのは奇跡であり、

しかも今地球上には80億の人がいる。その中のひとりの尊い命なのだと自覚すること。

2. 自愛心=己を愛する、限りある己、自分の命を大切にする。両親からいただいた命を大事にする。健康に留意し長生きすること。
3. 自制心=己を正しさと厳しさの中に律し、自己の責任を確立する。人はひとりでは生きられない。お互いの存在を認め共調して生きる。
4. 宗教心=己の中に信ずるものを持つ。宇宙、大自然との調和、感謝。

• 生きがいと自分自身 = 「生きる甲斐」

一人の人間がその生命を永らえていくために必要な諸条件「生きがい」は他の誰からも与えられるものではない。自分自身の力で見つけなければならない。生かされている命をどう生かすか、それぞれ生かしかたがあるが、おれは生かしているという、充実感をもって一生生きたいものだ。

• 寿命とは

平均寿命 = 平均寿命は世界一でも、特老と病院は満杯

健康寿命 = 生活習慣病に気をつけ、健康で長生き

幸福寿命 = 俺は幸せだと思って生きる寿命。生きがい寿命、感謝寿命

皆様の力で…

山形いのちの電話評議員・財務委員長
榎千歳建設 代表取締役社長

千 歳 毅

山形いのちの電話が30周年を迎えられたことを、心よりお喜び申し上げます。私の父が、本間利雄先生に誘われて、いのちの電話の評議員をさせていただきましたが、父の跡を継いで私が評議員を引き継いでおります。そして長谷川理事長のお誘いにより、財務委員長を拝命しております。浅学非才ですがよろしく申し上げます。

評議員会や運営委員会に出席させていただいて

おりますが、この活動をするために各委員会が活発な活動をしてることに感謝をしております。

いのちの電話は、相談員が忍耐強く相談者の話に耳を傾け、相談者に寄り添いその苦しみを分かち合うことで、冷静さを取り戻してもらい、自ら解決策を見いだせるようになってもらう、そのことが解決につながるのだと思います。相談員の皆様には、電話対応にボランティアで対応してい

ただき心より感謝申し上げます。

相談員はボランティアで活動していただいておりますが、法人として山形のちの電話は、研修費、広報費、事務費など費用が掛かり、運営資金が必要です。

この資金は、企業や団体・個人からのご寄付やチャリティーコンサートの収益金などによって賄

われております。各方面から暖かい寄付をいただいていることを、心より感謝申し上げます。

山形のちの電話は今年30周年を迎えます。これから持続的に運営していくために、引き続き皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

苦しみを乗り越える力

山形のちの電話評議員
榎でん六 代表取締役社長

鈴木 隆一

1. COMPANY (仲間)

弊社は過去に東日本大震災や倉庫火災、商品の大規模な品切れなど様々な問題が発生し、その都度みんなで対応して乗り越えてきました。会社のことを英語でCOMPANY (仲間)と言いますが、問題をみんなで共有し、社内社外の力を結集して解決するのが会社です。一方、いのちの電話を利用される方々は、多くの場合一人で不安や悩みを抱えて苦しんでおられると思います。電話でようやく悩みを打ち明けて、受話器の向こうで自分の話を傾聴してくれる人がいることを実感して初めて悩みを乗り越える第一歩を踏み出します。

2. 朝は、未来を生きる

以前読んだ本の中で「朝は未来を生きるために、昼は現在を楽しむために、夜は過去を味わうために」という言葉に出会いました。人の心の働きは一日の中でも朝・昼・夜によって異なります。朝は心と頭が自然に未来志向で積極的になります。だから、創造的な仕事や決断、計画立案に最適です。不安や恐れ、怒りなど自分の心癖が活動を始める前の時間なので、本来の素直な自分でいられます。朝の時間を活用すれば悩みも解決しやすくなりますが、悩みを抱えた人々は夜眠れず、大切な朝の時間になってようやく眠りにつきます。

3. 心の働きは、情→意→知

人の心の働きは知情意の三つである、と言われます。知とは知識、知恵であり、情とは、感情、共感であり、意とは意思、決意のことです。私はこの三つが情→意→知の順番で働くと考えます。最初に「うれしい、ありがたい」という感情が生まれ、次に「やってみよう、よしやろう」と決意

し、最後に「方針を決め計画を立てて実行する」という順番です。この順番を無視すると人は動きません。特に、悩んでいる人は「情」が正常ではないので、愛の力で正常化することから始まります。人は愛によって力を得て苦難を乗り越えます。そして、愛の力でより良い人間へと自己を変革することができます。

4. 人の喜びを、私たちの喜びに

この秋、山形のちの電話が開局30周年を迎えられるとお聞きし、みなさまのご努力の積み重ねを想い胸が熱くなりました。今後も人の悲しみを自分の悲しみとし、人を救い、人の喜びを自分の喜びとする人々の輪が一層広がりますように、そして、様々な団体や企業とも新たにつながり、社会をより良く変革するこの運動がさらに発展しますように心から願っています。



information

～感謝を込めて～
開局30周年記念講演
「笑顔のために」

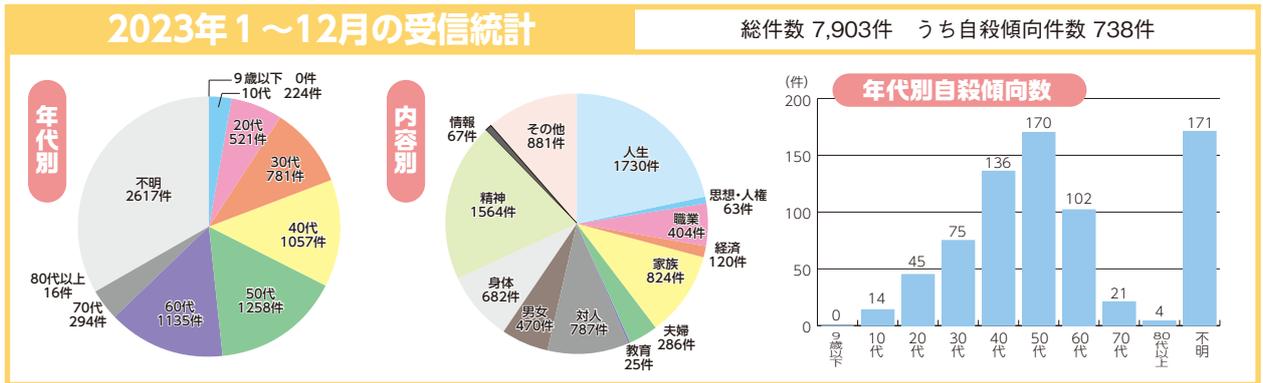
渡辺えり氏
日時 2024年10月26日(土) 10:00～12:00
会場 メトロポリタン山形
定員 350名

開局30周年を迎えるにあたって
 山形いのちの電話 事務局長 永澤 孝

4年間の準備期間を経て、1994年10月1日、山形いのちの電話が開局しました。今秋、30周年を迎え、無償のボランティア、電話相談員として活動していただいた皆様、運営主体の法人体制を支えていただいた役員の皆様、後援会会員として財務基盤を支えていただいた皆様、そしてその都度折に触れ寄附金を寄せていただいた企業、市民の皆様にご感謝いたします。さらに、電話相談活動という難しい仕事に従事する電話相談員を養成し、日頃の研修をリードいただき、また相談員自身の心のケアに配慮いただいた先生方にも感謝いたします。

こうしたたくさんの方々のお力添えで30年という節目を迎え、改めて皆様に感謝し、「いのちの電話」がさらに人々に寄り添う団体として発展することを願い、このたび30周年の記念講演会を催すことになりました。私たちがいのちの電話は、これまで歩んできた歴史を振り返り、先輩達のご労苦を偲び、さらに活動の充実を期してまいります。皆様には一層のご支援をよろしくお願いいたします。

東北四県 生きる支援フォーラム in やまがた
日時 令和6年9月28日(土) 13:00～17:00 / 29日(日) 9:30～12:00
会場 東京第一ホテル鶴岡 (山形県鶴岡市錦町2-10) TEL 0235-24-7611
定員 会場参集100名、ZOOM50名



事務局日誌 (2023.11～2024.5)

11月4～5日 22期生3年目研修	10日 自殺予防いのちの電話	13日 30th実行委員会	25日 相談委員会
5日 相談委員会	13日 男性相談研修会	15日 理事会	27日 連盟広報委員会
8日 30th実行委員会	14日 運営会議	17日 アンケート調査係会議	30日 事務局会議
9日 ボランティアリーダー会	17日 30th実行委員会	21日 連盟意見交換会	31日 運営会議
10日 自殺予防いのちの電話	23日 事務局会議	23日 分室合同研修会	
12日 F D研修(奥山慎一郎氏)	27日 山形新聞広告掲載	24日 25期生二次審査	
14日 運営会議	2月6日 30th実行委員会	26日 30th実行委員会	
16日 広報委員会	研修委員会	事務局会議	
21日 事務局会議	7日 広報委員会	27日 ボランティアリーダー会	
22日 川西町ゲートキーパー研修	山形県自殺対策懇談会	4月3日 連盟新規事業説明会	
25日 相談委員会総会	10日 自殺予防いのちの電話	6日 アンケート調査係会議	
27日 理事会	合同研修委員会	9日 内部監査	
29日 広報委員会研修会	自殺遺族支援研修会	10日 自殺予防いのちの電話	
30日～1日 連盟事務局研修会	25期生一次審査	16日 運営会議	
12月2～3日 日本電話相談学会 大会参加	20日 30th実行委員会	30th実行委員会	
5日 N T T山形支店 寄付金贈呈式	22日 事務局会議	18日 理事会	
MDRT日本会 寄付金贈呈式	25日 市民活動まつり(動画参加)	20日 25期生認定式	
6日 30th実行委員会	26日 連盟東北ブロック会議	22日 連盟広報委員会	
研修委員会	連盟広報委員会	23日 研修委員会	
7日 大掃除	27日 山形新聞社 寄付金贈呈式	25日 事務局会議	
10日 自殺予防いのちの電話	3月2日 拡大運営委員会	連盟能登支援サポーター会	
19日 事務局会議	相談委員会	5月10日 自殺予防いのちの電話	
20日 山形市自殺対策協議会	5日 広報委員会	14日 評議員会	
27日 連盟広報委員会	9日 アンケート調査係会議	16日 ボランティアリーダー会	
1月6～7日 26期生研修会	10日 自殺予防いのちの電話	18日 分室大掃除	

編集後記
 次号は、いよいよ30周年記念号が発行予定です。この大きな節目に、広報委員として携われる事は私にとって大きな喜びです。40年、50年と山形の地にこの活動が絶える事なく続くことを願わずにはいられません。その為にも活動を知っていただきご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。記念号をお楽しみに (K)

社会福祉法人 山形いのちの電話
 事務局 〒990-8691 山形中央郵便局私書箱第99号
 電話/023-645-4377(事務用) FAX/023-645-7795
 発行人/長谷川憲治 編集/広報委員会



この広報誌は、毎月、発刊委員会が配分会で発行しています。

